



Audio



Visual



Creation



Delivery



Professional



Trade Show

Inter BEE

International Broadcast Equipment Exhibition

2009

音と映像と通信のプロフェッショナル展

会期: **11月18日(水)》》20日(金)**

会場: **幕張メッセ**

主催: **JEITA** 社団法人 電子情報技術産業協会

出展のご案内

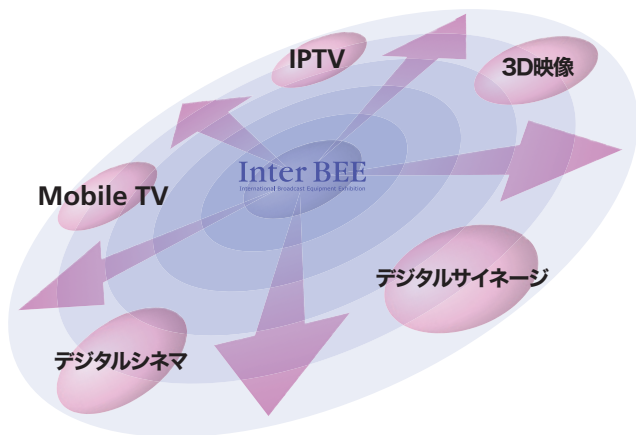
**Inter BEE 2009は、
時流を捉えた積極的な変革を進めます。**

Contents

- ◆展示会の幅を更に広げます。
出展部門/出展品目一覧
- ◆低コスト化と出展効果の向上を目指します。
出展活動のポイントとサポートサービス
- ◆コアユーザの来場誘致を進めます。
プロモーション実績
- ◆出展規程
- ◆スケジュール
- ◆Inter BEE 2008レポート

Inter BEE 2009は、 時流を捉えた積極的な変革を進めます。

展示会の幅を更にひろげます



■IPTV

来場者からの期待の高いIPTV関連製品をゾーニングし、来場者のニーズにお応えします。

■Mobile TV

完全デジタル移行後のビジネスチャンスを一足先に確認できる展示会を目指します。

■デジタルシネマ

市場が広がる新しいデジタルメディアの可能性と技術の進化を体感していただきます。

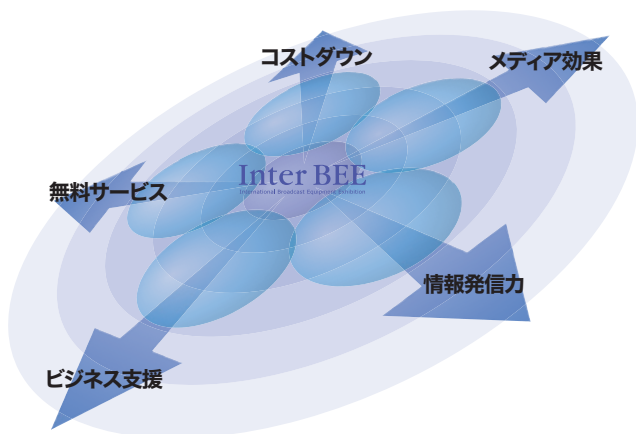
■デジタルサイネージ

新たな映像ビジネスを支える最新デジタルテクノロジーと通信システムを集約します。

■3D映像

映像分野は3Dに向かって技術革新が進み、新たなユーザ体験の機会を提供します。

低コスト化と出展効果の向上を目指します



■コストダウン

今回、出展小間料を値下げし、ご出展いただく皆様の費用対効果の向上に貢献します。

■充実の無料サービス

出展効果を上げていただくための各種無料サポートサービスをご用意しております。

■ビジネス支援

さらに出展効果を上げていただくための出展手法等について、専門家によるセミナーを実施します。

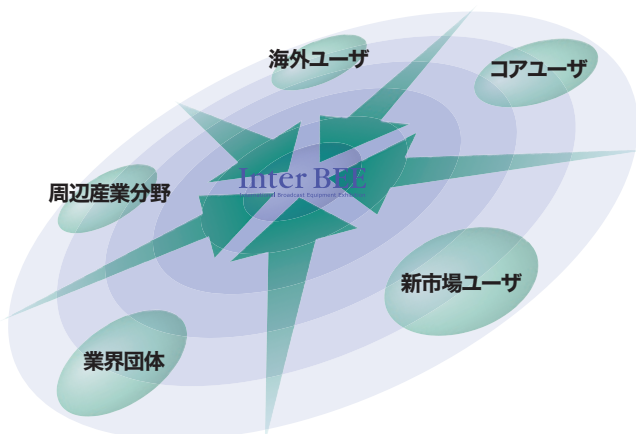
■情報発信力の強化

Websiteの再構築と積極運用により、国内外に向け例年以上に情報発信を強化します。

■メディア効果

関連業界誌紙を中心としたマスメディアとのタイアップにより、メディア効果の向上を図ります。

コアユーザの来場誘致を強化します



■コアユーザとなる放送局からの来場誘致を強化

NHKおよび民放キー局付近から直通シャトルバスを運行し、会場までのアクセス環境を強化します。

■新市場のユーザも積極誘致

新しいビジネスチャンスを探るコンテンツホルダーやサービスプロバイダーの来場を誘致します。

■関連業界団体の協力

関連業界団体の協力を得て、各会員向けに情報発信を進め、来場者の幅を広げます。

■広範な産業分野も視野に

放送と通信の融合による変革はあらゆる産業にビジネスを広げ、ユーザ層も広がります。

■海外ユーザへもアプローチ

日本の最先端ハードウェア技術と先進的なコンテンツ制作技術を海外にアピールします。



出展部門／出展品目一覧

多彩な音声関連機器・システムで、 デジタル時代のプロフェッショナルのニーズに応える プロオーディオ部門

◆オーディオ機器

マイクホン、レコーダ、デジタル オーディオ ワークステーション(DAW)、コンソール、ミキサ、マスタリング機器・システム、音声圧縮・伝送技術、各種コンバータ、エフェクタ(ハード、プラグイン)、アンプ、スピーカ、プレーヤ、音響設計・制御・施工、設備音響製品、インターカム、伝送ケーブル、アクセサリ、電源、ラック、ケース、バッグ、その他周辺機器



エンタテインメントスタジオの魅力を引き出す 舞台・演出照明にスポットを当て、さらに幅を広げる プロライティング部門

◆プロライティング機器

スタジオ照明機器、舞台照明機器、調光システム、調光卓、無線遠隔操作装置、舞台・テレビ照明器具、テレビスタジオ用照明ハトン昇降装置、写真スタジオ用照明設備、その他周辺機器

世界的なデジタル化、HD化、ファイルベース化の流れを受け、 多様な製品やシステムが相次ぐ 映像・放送関連機材部門

◆プロダクション関連

- 撮像装置：HDTVシステム、スタジオカメラ、VTR一体型カメラ、カムコーダ、クレーンカメラ、レンズ、その他周辺機器
- 記録装置：ビデオサーバ、ファイルサーバシステム、DVDシステム、BDシステム、VTR、メモリーカード、メモリーデバイス、光ディスク、ビデオテープ、データ圧縮技術、その他周辺機器
- 表示装置：映像モニタ、プロジェクタ、LCD・PDP・LEDディスプレイ、プロンプタ、その他周辺機器



◆ポストプロダクション関連

- 編集・制作装置：編集機、スイッチャ、ルーティングスイッチャ、ノンリニア編集システム、字幕・サブタイトル制作システム、タイトル制作システム、キャラクタージェネレータ、合成システム&ソフトウェア、ペイントシステム、メディアコンバータ、各種エンコーダ、その他関連ソフトウェア・周辺機器
- マルチメディアシステム：CG制作システム、アニメーション制作システム、バーチャルスタジオシステム、ソフトウェア&システム、その他関連ソフトウェア・周辺機器
- 制作管理システム：コンテンツマネジメントシステム、システム統合技術、データベース技術、ストレージ機器、アーカイブシステム、その他関連ソフトウェア・周辺機器

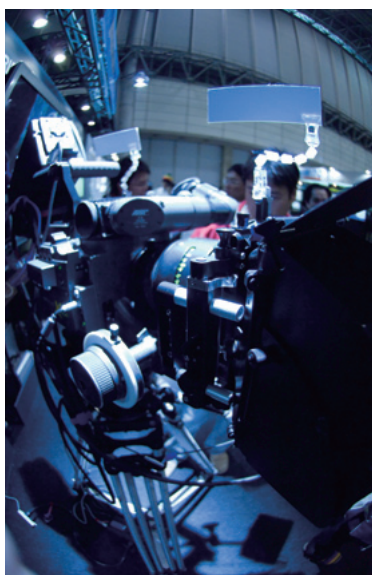
◆送出・送信システム関連

- 送出システム：自動番組送出システム(TV、ラジオ)、自動CM送出システム(TV、ラジオ)、サーバシステム、ITソリューション(ブロードバンドシステム)、ファイルシステム(オーディオ)、ファイルシステム(ビデオ)、グラフィックライブラリーシステム、フィルム&テレビネ、グラフィックシステム、その他周辺機器、外部情報対応システム(天気、株、交通情報等)
- 中継システム：基地局設備、FPU、SNG、中継車、車載用関連システム・周辺機器、連絡用無線機、緊急報道システム、その他周辺機器
- 送信システム：ラジオ放送、FM放送、地上波テレビ放送、ワンセグ放送、衛星放送(BS、CS放送)、CATV、多重放送、伝送ケーブル、ワイヤレスシステム、光ファイバ、その他周辺機器



◆放送機器関連

- 電源装置：無停電電源装置、定電圧・定電流電源装置、車載用電源、バッテリー、バッテリー充電器、その他周辺機器
- 測定・変換機器：試験信号発生器、測定器、信号変換器、その他周辺機器
- 各種特機・周辺製品：キャビネット、ラック、ベダスタル、三脚、雲台、クレーン、ステディカム、ファニチャ、運搬用ケース、その他周辺機器



デジタルシネマ、デジタルサイネージ、3D映像なども含め、 新しい市場に向けて新設する

■IPTV、Mobile TV、クロスメディアゾーン

NEW

◆IPTV

IPTVシステム、ストリーミングシステム、データ放送システム、ビデオオンデマンドシステム、その他関連技術・製品・サービス

◆Mobile TV

携帯端末向け放送、モバイルコンテンツ・アプリケーション、モバイル端末機器、ワイヤレスシステム、Wi-Fi、WiMAX、その他関連技術・製品・サービス

◆クロスメディア関連

デジタルシネマ、デジタルサイネージ、3D映像システム(撮影、ポストプロ、上映システム)、オンデマンドサービス&コンテンツ、その他関連技術・製品・サービス

■出版・パブリシティゾーン

関連書籍、音楽ライブラリ、関連ソフト・サービス、コンサルティングサービス



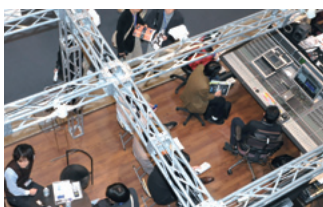
Inter BEEをトレードショーとして活用

販売促進や新規顧客開拓を目的とした出展活動のポイント



Point 1: 目標設定 出展の目的と目標を明確化しましょう。

- ◆PR目的での出展では、接触率の効果測定が難しい。
- ◆顧客接点の向上を目指す実質的な効果指標を策定しましょう。
- ◆効果指標を策定した上で、具体的な目標値を立てましょう。



Point 2: ブース設計 出展ブースは商談の場として活用しましょう。

- ◆より多くの製品展示と効果的な展示レイアウトを検討しましょう。
- ◆造作・ディスプレイで目立つことより、顧客接点を重視しましょう。
- ◆ブース内に顧客接点のポイントとなる商談スペースを確保しましょう。



Point 3: 顧客誘致 積極的に顧客を招待し事前アポイントをとりましょう。

- ◆顧客リストをA) 既存顧客、B) 見込顧客、C) 潜在顧客等に分類して戦略的に誘致計画を立てましょう。
- ◆顧客誘致にはEメール配信だけでなく、招待券を配布しましょう。
- ◆重要顧客とは会期中のアポイントを取り、営業担当者ごとにアポイントスケジュールを作成しましょう。



Point 4: 会期中の顧客対応 ご来場いただいた顧客とは時間をとって対話をしましょう。

- ◆顧客が来場の際には、ブース内の商談スペースを効率的に活用しましょう。
- ◆ブース内での商談にはケータリングも充実させましょう。
- ◆新規顧客の獲得にはバーコードリーダー(端末レンタル無料)を活用しましょう。

販売促進や新規顧客開拓をサポートするサービス

バーコードシステム

バーコードシステムで来場者の個人情報と属性分類を簡単に入手いただけます。

端末レンタル無料



ミーティングルーム

時間予約して顧客とのビジネスミーティングや各種会議にご利用いただけます。

有料



商談ルーム

時間予約してご利用いただける共用スペースです。ドリンクサービスも提供しています。

無料



プレゼンルーム

時間予約してご複数の顧客を一同に会してプレゼンテーションを実施いただけます。

有料



ケータリングサービス

ご希望の時間にブースに接客用の各種飲み物や軽食をデリバリーいたします。

有料



カスタマーズルーム

期間中を通して接客やワークショップなどの開催にご利用いただける部屋を提供します。

有料



Inter BEEをPRショーとして活用

ブース来場者数の増加と情報発信を目的とした出展活動のポイント



Point 1: 情報発信

新製品・新技術を集約し、積極的な情報発信をしましょう。

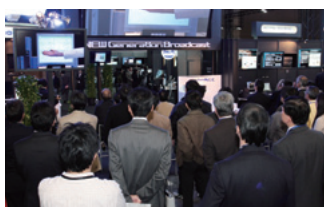
- ◆新製品、新技術の開発または発表のサイクルの照準をInter BEEにあわせましょう。
- ◆Inter BEEのWebsiteや無料パブリシティサービスを活用しましょう。
- ◆開催前に事務局やニュースセンターに見どころとなる出展情報を提供しましょう。



Point 2: 広報活動

事前の段階から戦略的な広報活動を展開しましょう。

- ◆露出効果が高いInter BEEに合わせたプレス発表などを計画しましょう。
- ◆広報担当者をブースに配置するなど、会期中の広報対応を充実させましょう。
- ◆海外広報活動も運動させ、Inter BEEの広報サービスを最大限活用しましょう。



Point 3: セールスプロモーション

様々なプロモーション活動を複合的に展開しましょう。

- ◆経営幹部が来場し、トップセールスやエクゼグティブの交流の場として活用しましょう。
- ◆プレゼンターやPR映像、パンフレットなどのPRツールを制作しましょう。
- ◆アンケートとノベルティ配布の活用によるマーケティングデータを収集しましょう。



Point 4: メディアミックス

ブース来場者数を増加させるための広告媒体を活用しましょう。

- ◆関連業界紙誌が企画するInter BEE広告特集を有効に活用しましょう。
- ◆事前に出稿する広告にInter BEE出展告知と自社ブース番号を掲出しましょう。
- ◆Inter BEEの広告媒体や会場サイン広告などを積極的に活用しましょう。

ブース来場者数の増加と情報発信をサポートするサービス

ホームページ

多くのユーザが閲覧するサイトに
出展者情報を出展者自らが入力して
掲載できます。

無料



公式ガイドブック

国内外の全来場者に無料配布する
ガイドブック(和・英)に
出展者情報を掲載いたします。

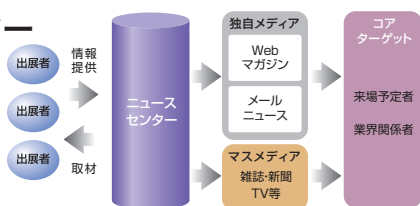
無料



ニュースセンター

取材チームが出展者情報を入
手、さまざまな機会を通
じて広く情報発信します。

無料



各種広告媒体

Websiteバナー、ガイドブック、
会場サインバナーなど各種広告媒体を
ご用意しております。

有料



プレスルーム

会期中に訪れる取材プレスに対し、
様々なサービスと出展者情報を
提供しています。

無料



ノベルティ

少ロットからでも作成可能な
社名入りノベルティグッズを
ご紹介いたします。

有料



Inter BEEのプロモーション実績

広報活動とWebsiteを充実させ、情報発信力を強化します。

◆報道発表(リリース配信)

Inter BEE 2008	
出展募集開始告知	3/13
入場前登録開始告知	9/8
Inter BEE Forum告知	11/13
開催告知・取材誘致案内	11/18
プレスルーム設置	11/19~21
終了報告	11/21

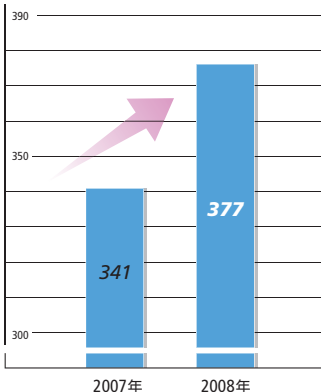


音と映像と通信のプロフェッショナル情報サイト

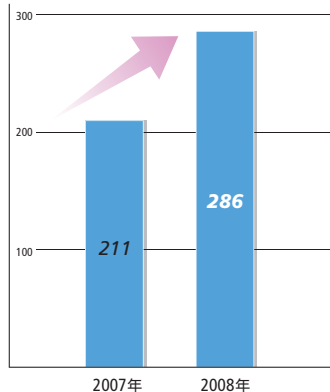
Inter BEE online
www.inter-bee.com

Inter BEE onlineは、展示会情報のみならず、1年を通して業界動向や企業ニュースを発信するポータルサイトです。人気コンテンツの「Online Magazine」には、業界専門家が国内外の展示会や出展製品を取材したレポートを年間を通して掲載しています。

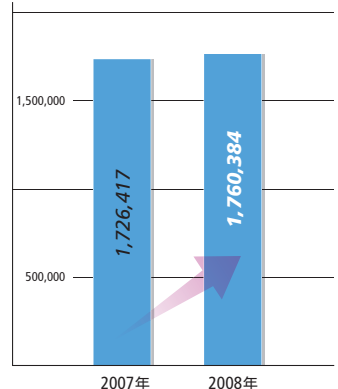
◆プレス登録数



◆掲載記事数



◆Websiteページビュー (10,11月)



◆広告掲載(国内)

MJ
サウンド&レコーディングマガジン
SOUND A&T
サウンドデザイナー
ステージサウンドジャーナル
PRO SOUND
テレケーブル新聞
テレコミュニケーション
日経コミュニケーション
日経ネットワーク
衛星&ケーブルテレビ
映像情報インダストリアル
映像新聞
FDI
CG World&Digital Video
TVテクノロジー
電波タイムズ
B-maga
ビデオα
ビデオサロン
ビデオジャーナル
放送技術
放送ジャーナル

◆広告掲載(海外)

Asia Image (アジア放送制作)
Asia Pacific Broadcasting (アジア放送)
Broadcast & Production (中国放送・制作)
Content+Technology (アジア放送機器)
Info AV China (中国映像技術)
INTERNATIONAL Pro-AUDIO & LIGHTING (中国音響・照明)
PC Magazine (Singapore edition) (アジア情報通信)
Pro Audio Asia (アジア音響)
Television Asia (アジア放送)
TV Technology (Asia/Pacific edition) (アジア放送)
American Cinematographer (米映画・照明)
Broadcast Engineering (US/Canada edition) (米放送)
Broadcasting & Cable (米放送)
Digital Content Producer (米映画・ビデオ制作)
Millimeter (米映像スタジオ技術)
Multichannel NEWS (米ケーブルTV)
Pro Sound News USA (米音響)
TV Technology (USA edition) (米放送)
IBE (欧放送)
Installation Europe (欧音響・照明)
Pro Sound News Europe (欧音響)
TV Technology (Europe edition) (欧放送)
TVB Europe (欧放送)
digital studio (中近東放送・制作)
PC Magazine (UAE edition) (中近東情報通信)
Broadcast Engineering (World edition) (国際放送)



◆Online Magazine記事掲載数/Inter BEE TV配信数

	Online Magazine	Inter BEE TV
Inter BEE	33	107
CESレポート	8	19
NABレポート	20	32
IBCレポート	29	30
Broadcast Asiaレポート	-	10
CEATEC JAPANレポート	20	22

メディアパートナー

Inter BEEは関連業界紙誌が、メディアパートナーとしてサポートしています。



◆テレビOA一覧

国	放送局	番組名
日本	日本テレビ	NEWS24ディリープラネット(デジプラMONO事業部)
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト
	テレビ東京	E-morning
	テレビ東京	NEWSFINE
米国	KDFW (FOX, Dallas, Texas)	FOX 4 NEWS
	KTTV (FOX, Los Angeles)	Good Day L.A./Fox 11 Morning News
	NC14 (Time Warner, N.Carolina) Cable	TechTalk
	NY1 (Time Warner, New York) Cable	TechTalk
	RCN Television (National- Columbia)	News
	UNIVISION (Spanish CH. National)	Despierto America
	WCCB (FOX, Charlotte, N. Carolina)	Afternoon Talk
	WBFF (FOX, Baltimore, Maryland)	FOX 45 NEWS
	WABC(ABC:National)	Good Morning America -Saturday Morning "TechBytes"

Inter BEE

International Broadcast Equipment Exhibition

2009

出展規程

開催概要

- ◆ 名 称
Inter BEE 2009 [第45回]2009年国際放送機器展
International Broadcast Equipment Exhibition 2009
- ◆ 会 期
11月18日(水)～20日(金)(3日間)
- ◆ 開場時間
11月18日(水)・11月19日(木) 午前10時～午後5時30分
11月20日(金) 午前10時～午後5時
- ◆ 会 場
幕張メッセ 展示ホール 2、3、4、5、6、7、8(予定)
〒261-0023 千葉市美浜区中瀬2-1
- ◆ 対 象
国内外の放送局技術者、番組制作会社、放送設備導入会社、
CATVおよび放送技術に関連する層を対象とします。
- ◆ 入 場
無料(登録制)
- ◆ 主 催
JEITA 社団法人 電子情報技術産業協会
- ◆ 後 援
社団法人 日本民間放送連盟(NAB-J)、日本放送協会(NHK)(以上予定)
- ◆ 運 営
有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会
- ◆ 海外パートナー



目次

出展の資格/小間に関する事項	7
出展者の資格	
出展機種	
出展部門・ゾーン	
小間の規格・仕様	
申込小間数と小間の形態	
小間位置の決定	
出展小間料/出展申込および契約に関する事項	10
出展小間料	
出展小間料に含まれる経費	
出展小間料以外の経費	
出展申込および契約	
出展小間料の払い込み	
出展の取消および小間の削減	
出展に際しての留意事項/禁止事項等	12
外国からの出展物(装飾資材を含む)の持ち込み	
工業所有権に関する出展前出展物についての保護	
禁止行為	
出展者の責任	
不可抗力による開催中止・短縮	
取材・撮影	
出展者間の紛争の処理	
ブース設営に関する事項	13
ブース設計	
天井構造/二階建て構造	
床面工事	
消防法	
展示物、展示運営に関する事項	15
模倣品・偽造品の展示等の禁止	
比較表示	
適正な表示	
車両展示	
音量規制	
デモ規制	
危険物の取り扱い	
本規程の違反および解釈の疑義について/ その他/実行委員会	17
本規程の違反および解釈の疑義について	
その他	
実行委員会	

出展の資格／小間に関する事項

◆出展者の資格

放送機器ならびに関連機材のメーカーおよび商社、放送機器関連のソフトウェアを取り扱う会社等

1. 出展者資格に該当する業種の法人が出展物を出展する場合であっても、広告代理店等を介しての出展はできません。
2. 出展対象の法人や過去に出展実績のある法人においても、出展規程や各種マニュアルに定める規範に違反した場合、あるいは実行委員会が来場者や他の出展者へ悪影響をおよぼすと判断した場合は、出展をお断りする場合があります。

◆出展機種

放送に使用するすべての機材、同付属品、測定器、部品、その他の番組制作関連機材等

プロオーディオ部門

- オーディオ機器
マイクロホン、レコーダ、デジタルオーディオワークステーション(DAW)、コンソール、ミキサ、マスタリング機器・システム、音声圧縮・伝送技術、各種コンバータ、エフェクタ(ハード、プラグイン)、アンプ、スピーカ、プレーヤ、音響設計・制御・施工、設備音響製品、インターカム、伝送ケーブル、アクセサリ、電源、ラック、ケース、バッグ、その他周辺機器

プロライティング部門

- プロライティング機器
スタジオ照明機器、舞台照明機器、調光システム、調光卓、無線遠隔操作装置、舞台・テレビ照明器具、テレビスタジオ用照明バトン昇降装置、写真スタジオ用照明設備その他周辺機器、

映像・放送機材関連部門

- プロダクション関連
 - 撮像装置
HDTVシステム、スタジオカメラ、VTR一体型カメラ、カムコーダ、クレーンカメラ、レンズ、その他周辺機器
 - 記録装置
ビデオサーバ、ファイルサーバーシステム、DVDシステム、BDシステム、VTR、メモリカード、メモリーデバイス、光ディスク、ビデオテープ、データ圧縮技術、その他周辺機器
 - 表示装置
映像モニタ、プロジェクタ、LCD・PDP・LEDディスプレイ、プロンプタ、その他周辺機器
- ポストプロダクション関連
 - 編集・制作装置
編集機、スイッチャ、ルーティングスイッチャ、ノンリニア編集システム、字幕・サブタイトル制作システム、タイトル制作システム、キャラクタージェネレータ、合成システム&ソフトウェア、ペイントシステム、

メディアコンバータ、各種エンコーダ、その他関連ソフトウェア・周辺機器

- マルチメディアシステム
CG制作システム、アニメーション制作システム、バーチャルスタジオシステム、ソフトウェア&システム、その他関連ソフトウェア・周辺機器
- 制作管理システム
コンテンツマネジメントシステム、システム統合技術、データベース技術、ストレージ機器、アーカイブシステム、その他関連ソフトウェア・周辺機器

■送出・送信システム関連

- 送出システム
自動番組送出システム(TV、ラジオ)、自動CM送出システム(TV、ラジオ)、サーバシステム、ITソリューション(ブロードバンドシステム)、ファイルシステム(オーディオ)、ファイルシステム(ビデオ)、グラフィックライブラリーシステム、フィルム&テレシネ、グラフィックスシステム、外部情報対応システム(天気、株、交通情報)、その他周辺機器
- 中継システム
基地局設備、FPU、SNG、中継車、車載用関連システム・周辺機器、連絡用無線機、緊急報道システム、その他周辺機器
- 送信システム
ラジオ放送、FM放送、地上波テレビ放送、ワンセグ放送、衛星放送(BS、CS放送)、CATV、多重放送、伝送ケーブル、ワイヤレスシステム、光ファイバ、その他周辺機器

■放送機器関連

- 電源装置
無停電電源装置、定電圧・定電流電源装置、車載用電源、バッテリー、バッテリー充放電器、その他周辺機器
- 測定・変換機器
試験信号発生器、測定器、信号変換器、その他周辺機器
- 各種特機・周辺製品
キャビネット、ラック、ベダスタル、三脚、雲台、クレーン、ステディカム、ファニチャ、運搬用ケース、その他周辺機器

IPTV・Mobile TV・クロスメディアゾーン

- IPTV
IPTVシステム、ストリーミングシステム、データ放送システム、ビデオオンデマンドシステム、その他関連技術・製品・サービス
- Mobile TV
携帯端末向け放送、モバイルコンテンツ・アプリケーション、モバイル端末機器、ワイヤレスシステム、Wi-Fi、WiMAX、その他関連技術・製品・サービス
- クロスメディア関連
デジタルシネマ、デジタルサイネージ、3D映像システム(撮影、ポストプロ、上映システム)、オンデマンドサービス&コンテンツ、その他関連技術・製品・サービス

出版・パブリシティゾーン

関連書籍、音楽ライブラリ、関連ソフト・サービス
コンサルティングサービス

◆出展部門・ゾーン

出展物が複数部門にまたがる場合はウエイトを置く部門にまとめて展示するか、または複数の部門に分けて展示することができます。また、映像・放送関連機材部門に出展した場合についてのみ天井照明を選択することができます。

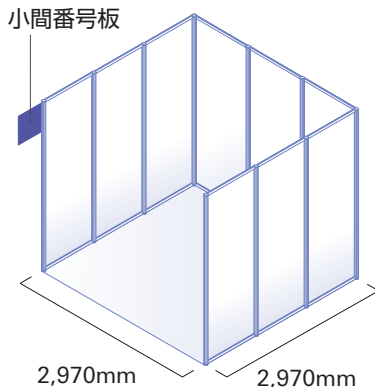
部 門	天井照明
プロオーディオ部門	全灯(約500ルクス)
プロライティング部門	全消灯(約50ルクス)
映像・放送関連機材部門	全灯(約500ルクス)・ 全消灯(約50ルクス)より選択
IPTV、Mobile TV、 クロスメディアゾーン	全灯(約500ルクス)・ 全消灯(約50ルクス)より選択
出版・パブリシティ部門	全灯(約500ルクス)

プロライティング部門の出展者は、会場躯体への照射が可能となりますが、周辺出展者への影響を考慮し、展示場の端に小間を設置いたしますのでご注意ください。

◆小間の規格・仕様

1. スタンダードブース

(1) 一列～四列小間の規格と仕様(1～18小間)



- ① 規格: 間口=2,970mm 奥行=2,970mm
- ② 仕様: 列小間の出展者には、背面となる面のバックパネルおよび他社と隣接する面のサイドパネルをシステムパネルで設置します。なお、角小間の通路側のサイドパネルは設置しません。

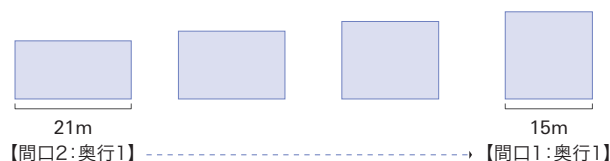
(2) ブロック小間の規格(20小間以上)

ブロック小間の規格は1小間の面積を9m²とし、9m²×小間数分の総面積より間口:奥行を2:1から1:1の範囲で墨出します。寸法については小間割抽選会時の図面にて指定します。なお、小間寸法のご要望はお受けしかねますので、ご注意ください。

【小間寸法例】

25小間で申し込んだ場合:

総面積225m²(9m²×25小間)間口を広く取った長方形から正方形になる間で寸法を計算し、墨出します。

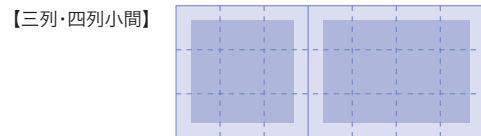
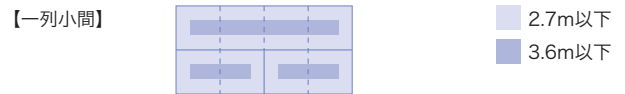


(3) 高さ制限

事務局が設置する基礎パネルの高さを2.7mといたしますが、以下のとおりの高さ制限となります。

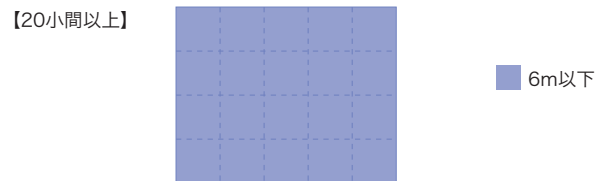
①1～18小間(列小間)

通路および基礎パネルより1mセットバックした部分は、高さ3.6mまで使用可能です。



②20小間以上(ブロック小間)

全面高さ6mまで使用可能です。

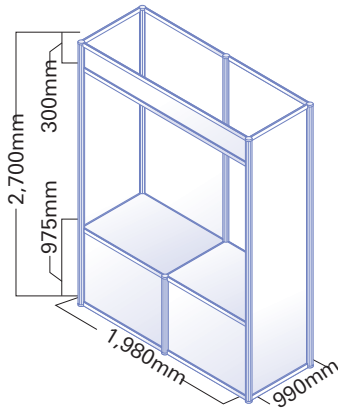


(4) 出展製品が高さ制限を超過する場合

出展物および装飾物の高さの制限は前記のとおりとします。ただし、出展物の特性上高さが制限を超える場合は、出展申込時に運営事務局である有限責任中間法人日本エレクトロニクスショー協会(以下「当協会」と略称することがあります)に仕様パンフレットを提出・申請し、実行委員会の許可を受けてください。この場合、出展物は自社小間内に展示することとし、通路上の空間等にはみ出すことはできません。高さ超過の許可を受けた出展物に関しては機材の原状で出展するものとし、社名・製品名等の装飾を施すことを禁止します。

※高さ超過申請した出展者においては、前回まで事前に小間位置を決定しておりましたが、2009年より小間割抽選会に参加していただきますので、予めご了承ください。

2. スモールパッケージブース



- ① 規格: 間口=1,980mm 奥行=990mm 高さ=2,700mm
- ② 仕様: ・基礎壁面 ・展示台(高さ975mm 下部収納付)
・社名掲出用パラペット(幅300mm) ・社名板
・蛍光灯 ・コンセント(容量1kwまでの单相100V電源)

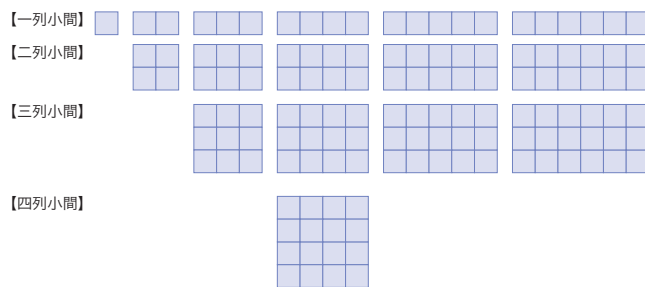
※申込小間数は2小間を上限とします。

3. 小間の表現の定義

Inter BEE(以下「本展示会」と略称することがあります)では、小間の表現を上記の通り、「スタンダードブース」と「スモールパッケージブース」の2つの表現で分類しています。なお、ご請求の際は、「出展小間料」に統一してご請求します。

◆申込小間数と小間の形態

種類	小間の形態	申込小間数
スタンダードブース	一列小間	1, 2, 3, 4, 5, 6
	二列小間	4, 6, 8, 10, 12
	三列小間	9, 12, 15, 18
	四列小間	16
	ブロック小間	20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100
スモールパッケージブース		1, 2



1. 列小間(18小間以下)は、1辺~3辺が他社と接する場合があります。
2. 共同出展または業界団体による出展の場合は、申込上限の100小間を超えて申し込むことができます。
3. 申込締切後、実行委員会において部門別会場構成等を審議し、会場の収容力が不足する場合は、公平な基準を設け、各出展者の小間数を申込数より削減して割り当てる調整を行うことがあります。

◆小間位置の決定

小間位置は、出展者間の抽選により決定します。抽選は同一部門内、同一ゾーンの同小間数および同形態の出展者間で行います。なお、ブロック小間は各社の申込状況により、10小間程度の範囲内(例:25小間~35小間など)を同一抽選対象とする場合があります。また、プロライティング部門は、会場躯体への照射が可能となりますが、他の出展部門の展示への影響を考慮し、展示場の壁面沿いまたは周辺出展者に影響をおよぼさない場所に部門を配置いたします。(小間割抽選会/7月23日予定)

1. 一次抽選

5月29日(金)までにお申し込みいただいた出展者は一次抽選に参加できます。

なお、小間数の変更は6月末までとし、7月以降に小間数を変更した場合は、一次申込期限内の出展者も二次選択とします。

2. 二次選択

5月30日(土)から6月26日(金)までにお申し込みいただいた出展者は、申し込みの早い順に、空き小間から小間を選択していただきます。

3. 予備小間

抽選会までに申込小間数が募集小間数に満たなかった場合、残りの小間を予備小間として配置します。6月27日(土)以降にお申し込みいただく場合、この予備小間の中から先着順に希望の位置を指定していただきます。

4. 固定小間

以下の小間は実行委員会により、あらかじめ小間位置を決定させていただきます。

- (1)小間抽選は出展部門・ゾーンごとの同小間数・同形態の複数会社間により行うため、小間数ならびに小間の形態が1社のみ的小間
- (2)連携出展を希望する小間
- (3)海外協力団体や国内関連団体

5. 小間割抽選会終了後、空スペースにユーティリティブース等を設けますが、さらに出展取り消し、小間数の増減等により小間割に変更が生じる場合があります。

6. ブロック小間の出展者に対し、実行委員会が来場者の動線を考慮し、小間の出入り口を指定する場合があります。

7. 天井照明

出展部門	天井照明
プロオーディオ部門	全灯(約500ルクス)
プロライティング部門	全消灯(約50ルクス)
映像・放送関連機材部門	全灯(約500ルクス)または全消灯(約50ルクス)

映像・放送関連機材部門の出展者は、希望により全灯または全消灯に小間を配置する予定ですが、小間割の結果、希望した天井照明エリアにならない場合がありますのでご注意ください。

出展小間料／ 出展申込および契約に関する事項

◆出展小間料

1. スタンダードブース

1小間につき次のとおりとします。

一般法人 (通常小間料)	@ 283,500円(税込) (税抜価格270,000円)
日本エレクトロニクスショー協会会員 IABM会員 (会員小間料)	@ 252,000円(税込) (税抜価格240,000円)

※従来の料金から一小間につき20,000円値下げしております。

2. スモールパッケージブース(基礎裝飾付)

1小間	@ 152,250円(税込) (税抜価格145,000円)
2小間	@ 304,500円(税込) (税抜価格290,000円)

◆出展小間料に含まれる経費

招待状・案内状・封筒セット	150部/小間	
出展者バッチ	10枚/小間	
作業員バッチ	5枚/小間	
電気供給費 単相100Vまたは200V	1kW/小間	
電気使用料	無料	
バーコードシステム	システム料	1社
	端末器レンタル料	1台目/1社
ガイドブック	1枠/1社	
ホームページ掲載	1ページ/1社	

◆出展小間料以外の経費

1. 下記の経費は出展小間料に含まれておりません。

招待状・案内状・封筒セット (前記規程枚数を超える分)	30円/部
出展者バッチ (1小間あたり10枚を超える分)	1,000円/枚
作業員バッチ (1小間あたり5枚を超える分)	500円/枚
電気供給費 (前記の規程供給量を超える分) 単相100V、200Vまたは3相200V	6,825円/kW
バーコードシステム 端末器レンタル料	2台目から: 8,400円/1台
残業代	10,500円/時間
レセプション参加費	10,000円/1名

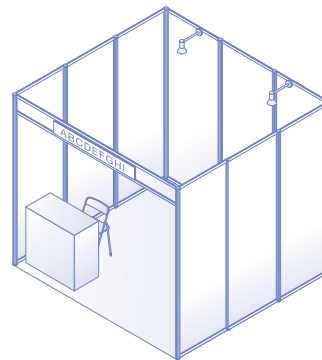
2. 基礎パネル以外の小間裝飾

基礎パネル以外の小間裝飾は基本的に出品者が行います。

なお、当協会ではブース内での使用を目的としたディスプレイ備品、パソコン、モニター等の有料レンタルを行っています。詳細は後日配布する「出展者マニュアル」にてご紹介します。

3. パッケージディスプレイ

当協会では、最小限必要な備品を備えたパッケージディスプレイを用意しております。簡易裝飾を希望の出展者はぜひご利用ください。



基本仕様: ・パラペット ・社名板 ・カーペット ・受付カウンタ
・イス ・スポットライト ・蛍光灯 ・コンセント

パッケージディスプレイ1小間用	73,500円(消費税込)
パッケージディスプレイ2小間用	115,500円(消費税込)
パッケージディスプレイ3小間用	157,500円(消費税込)

※パッケージディスプレイは多くのバリエーションを用意しています。
詳細は後日配布する「出展者マニュアル」でご案内します。

4. その他

出展者の希望または、小間設計に係わる法令上の必要性に応じて発生する経費がありますが、詳細については、後日配布する「出展者マニュアル」でご案内します。

◆出展申込および契約

出展申込および契約の手続きは、本規程に定める全ての事項を了承することを確認し、所定の「出展申込書・契約書」に所要事項を記入のうえ、当協会までお申し込みください。お申し込み後、当協会より出展申込受理確認をE-mailにてご連絡します。

この受理確認メール本文中に記載された期日を出展契約締結日とし、出展者は出展小間料の支払い義務を負うものとします。

なお、出展部門・ゾーンについては、主たる出展対象製品の部門に出展することを基本とし、実行委員会の判断により別途ご相談する場合があります。

また、複数の部門・ゾーンに申し込む場合、1つの部門・ゾーンにつき1通の出展申込書・契約書が必要です。

1. 申込先

有限責任中間法人日本エレクトロニクスショー協会
〒105-0012 東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館5階
TEL:(03)5402-7601 FAX:(03)5402-7605

2. 申込期限

(1) 一次申込期限:2009年5月29日(金)

小間割抽選会で一次抽選に参加できます。

(2) 二次申込期限:2009年6月26日(金)

小間割抽選会では、二次選択への参加になります。

※申込小間数が募集小間数に達した場合は、上記申込期限前に募集を締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

(3) 二次申込期限以降

6月27日(土)以降も募集小間が満小間になるまで随時出展を受け付けますが、満小間になり次第、受け付けを終了いたします。

3. 「会社概要」等の添付

本展示会に初めて出展される場合、出展申込書・契約書に「会社概要」および「出展予定製品カタログ」を必ず添付してください。また、初出展でない場合でも、以前提出された「会社概要」または「出展予定製品カタログ」に重要な変更があった場合には変更後の「会社概要」または「出展予定製品カタログ」を添付してください。上記添付資料がない場合には、出展申込書・契約書の受理を保留し、添付資料を確認のうえ申し込みを受け付けます。

4. 2社以上の会社が共同または隣接で出展する場合

グループ・関連会社と一つのブース内で出展する場合や、他社とブースを近づけることで出展効果を高めたい場合には、以下の条件に基づき申請を行ってください。

(1) 共同出展

1社が代表して出展申込および出展小間料金の支払を行ってください。なお、共同出展予定の会社情報について、出展申込後に事務局より所定の共同出展者登録書を送付いたしますので、必要事項を記入しご提出ください。申請することにより、関連会社を連名にてリストや図面に記載することができます。

(2) 隣接出展

- ①各社の申込小間数の合計が、規定の小間規格および形態であること。
- ②出展小間料は各社個別の支払いであること。
- ③小間位置は、合計申込小間数にて抽選会に参加し決定します。
- ④隣接ブースとの間仕切りパネルおよび小間番号の有無については、別途アンケートにて確認いたします。

(3) 連携出展

- ①各社の合計小間数が、小間規格および形態に該当しない場合。
- ②通路を挟んでブースを並べたい場合。
- ③各社の申込小間数は、必ず規定の小間規格および形態であること。
- ④出展小間料は各社個別の支払いであること。
- ⑤小間位置は、事前に事務局にて決定いたします。小間位置を選択することはできません。なお、小間形態によっては、ご希望に沿えない場合がございますので、予めご承知おきください。
- ⑥連携出展の理由に妥当性が認められない場合は、申請をお受けできないこともありますので、予めご承知おきください。

5. 破産・和議・会社整理・民事再生法または会社更生法手続き中である者、または金融機関から当座取引停止処分を受けている者の申し込みは受理しません。また、当協会が上記に等しいと認めた場合も同様とします。

◆出展小間料の払い込み

出展小間料は、「有限責任中間法人日本エレクトロニクスショー協会」からの請求により、以下の期限までに指定の銀行口座にお振り込みください。(指定口座は請求時にご案内いたします。)

なお、手形によるお支払いはお断りいたします。

また、振込手数料は、出展者の負担とさせていただきます。

一次申込出展者	7月31日(金)
二次申込出展者	8月31日(月)

◆出展の取り消しおよび小間の削減

お申し込み後、出展者の都合により出展を取り消す場合、あるいは申込小間数を削減する場合は、次の金額を申込解約金として申し受けます。解約金には消費税を加算します。

7月1日から7月31日まで	小間料の60%
8月1日から8月31日まで	小間料の80%
9月1日以降	小間料の100%

出展の取り消し、小間数の削減・追加についてはすみやかにお知らせください。その後事務局より送付する「出展取り消し・小間数変更申請書」に所定事項を記入し、提出してください。事務局は確認のため、この申請書を受け付けた旨ご連絡いたします。

出展に際しての留意事項／禁止事項 等

◆外国からの出展物(装飾資材を含む)の持ち込み

本展示会は、展示会場全ホールを対象に、当協会にて保税展示場の申請を行います。保税展示場になりますと、外国製品(日本以外の地域で生産または製造されたもので、まだ輸入通関手続きを完了していないものを指す)を輸入通関することなく、外国貨物の状態で出展することができます。

◆工業所有権に関する出願前出展物についての保護

主催者は、特許庁長官に対し、次の各法令の規定による指定を受けるための申請を行います。出展物のうち特許、実用新案または商標の出願予定のある出展者が必要な手続きをとることにより、下記関連法規の特例適用が受けられます。

なお、本件についての詳細は、指定があった際に改めて出展者に連絡します。

1. 特許法第30条第3項
2. 実用新案法第11条第1項
3. 商標法第9条第1項 出展者間の紛争の処理

◆禁止行為

次の行為は禁止行為に該当します。

1. 小間の転貸、売買、譲渡、交換
出展者は、相手が他の出展者あるいは第三者であることを問わず、出展小間の一部あるいは全部を転貸、売買、譲渡、交換することはできません。
2. 別会場への誘導を目的とした出展
本展示会場以外の場所で主要な製品の展示や、セミナーなどを行い、本展の来場者を当該別会場へ誘導することを目的とする出展はお断りします。
3. 出展物の即売
出版物、ソフトウェア製品を除く出展物の即売を禁止します。
なお、出版物、ソフトウェア製品の即売を行う場合においても、その内容につき事前に実行委員会または当協会の承諾を得てください。
4. 迷惑行為
小間の外および通路における来場者に対する強引なブースへの誘導は禁止します。また、極端に執拗な製品説明なども迷惑行為と見なし、禁止する場合があります。
5. 個人情報収集を主目的とした出展の禁止
ブース内において、自社が取り扱う製品の展示や、商品・サービスのPRをすることなく、来場者の個人情報の収集を主目的として行う出展は禁止します。
また、すべての出展者にも個人情報保護法の要件を満たした行為や対応をお願いします。来場者の個人情報の収集および取り扱い、利用について遵守すべき内容については、出展者マニュアルでご案内します。

◆出展者の責任

1. 支払いの責務
出展者は当協会が請求する出展料ならびに諸経費の支払いにつき、その支払いが完了するまでその責を負うものとします。
2. 法令の順守
出展物等の輸送および管理、造形物およびその管理等については、日本で施行されている法令を遵守するものとします。
3. 損害責任・管理責任・保険
(1) 主催者(社団法人電子情報技術産業協会(JEITA))、実行委員会および当協会は、期間中における会場の管理・保全については、警備員を配置する等、事故防止に最善の注意を払いますが、天災、火災、盗難、紛失、その他不可抗力により、人身および物品に対する傷害・損害が生じた場合、その責任を負いません。したがって、盗難防止等の措置を独自で施すことをお勧めいたします。
(2) 出展者が会場において、来場者、他の出展者およびその他第三者に対し人身の死傷または物的損害を生じさせた場合には、当該出展者の責任ですべて処理するものとし、主催者、実行委員会および当協会は何ら責任を負わないものとします。
(3) 出展者はブースの管理責任者を当協会に事前申請することとし、管理責任者は、会期の全期間について、自社ブースで行われる作業や運営に立ち合ってください。
(4) 出展者は出展物等に保険を付すなどの措置をとるようにし、独自の管理を行ってください。
(5) 当協会は会場の管理、保全、秩序の維持、ならびに来場者の安全に万全を期しますが、これらに支障をきたすと判断した実演については、出展者に対して必要な対策を依頼し、実演の制限、または中止を求めることがあります。
出展者の実演により万一事故が生じた場合、主催者、実行委員会および当協会は責任を負いません。該当出展者は直ちに必要な措置をとるとともに当協会まで連絡してください。
4. 開催スケジュールの遵守
出展者は搬入・開催スケジュール・搬出について、当協会の指定する日時を遵守することとし、開催期間中は一切の搬出作業を行わないものとします。

◆不可抗力による開催中止・短縮

1. 地震・火災等の天災、感染症、テロ、第三者からの指示・命令、その他不可抗力により展示会開催が不可能となった場合、主催者、実行委員会および当協会は一切の責任を負わないものとします。
2. 開催以前に、不可抗力により全日程が開催中止となった場合、当協会は弁済すべき必要経費を差し引いた出展小間料金の残額を出展者に返却します。
3. 開催中に発生した不可抗力により、開催期日・開催時間を短縮した場合については、出展小間料金は返却しません。
4. 不可抗力による開催中止または短縮のため出展者が要した費用等については補償しません。

◆取材・撮影

実行委員会または当協会が指定したスタッフが会場内の取材・撮影を行います。出展者は、取材、撮影に協力し、かつ、実行委員会または当協会が認めた団体が本展示会の広報・宣伝活動のため出展内容および運営・出演スタッフ（協力関係会社スタッフを含む）の映像、画像、記事等を使用することを承諾するものとします。

◆出展者間の紛争の処理

出展者と他の出展者との間で生じた、出展物、出展物に関する広告および知的財産権並びに小間の使用に関する紛争その他すべての紛争は関係する出展者間で解決されるものとし、主催者、実行委員会および当協会は何らの責任も負わないものとします。

ブース設営に関する事項

◆ブース設計

展示・実演に関わる全ての行為は自社小間内で行うこととします。特に下記の内容について、行為を行った場合、実行委員会または当協会より改善要求をいたします。改善されない場合は、ご出展を中止させていただく場合があります。

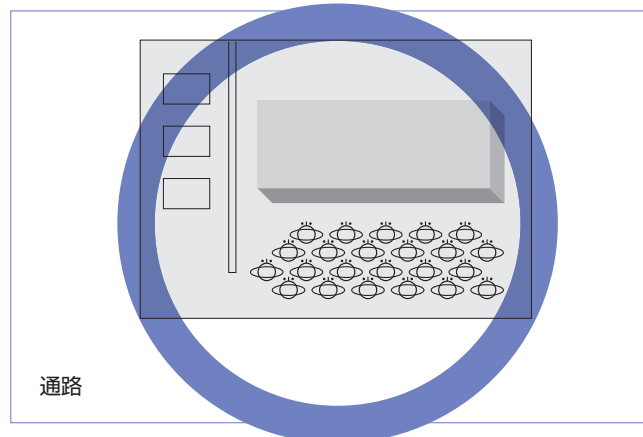
1. 小間外スペースの使用禁止

- (1) 小間周囲の通路に来場者を多数滞留させることはできません。ステージ等を設置する場合は、小間内に来場者を収容して見学できるような、小間設計を行ってください。
- (2) 小間の規格外に出て、来場者の誘引、来場者に対するアンケート行為およびこれに類する行為はできません。
- (3) 小間周囲の通路および小間の裏側に展物、装飾物、カタログ、備品、植木、梱包材等を置くことはできません。
- (4) 照明を通路や会場壁面または天井等へ投影する行為はプロライティング部門の出展者を除いて禁止します。

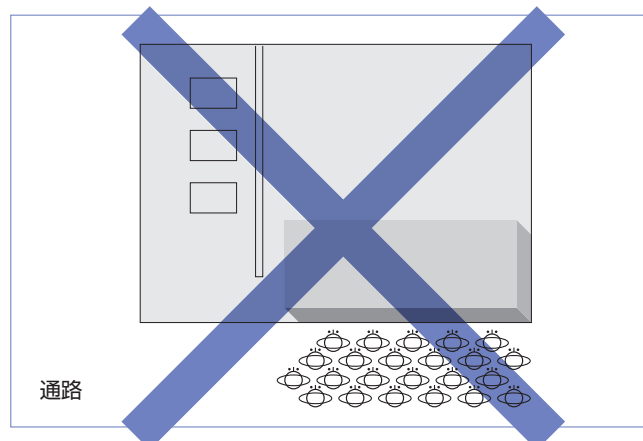
2. ステージの設置

小間内にステージを設置する場合は、来場者が通路に滞留しないよう、必ずブース内に来場者を収容する十分なスペースを確保して、ステージを設置してください。会場で問題が発生した場合、改善を要求する場合があります。

良い例



悪い例



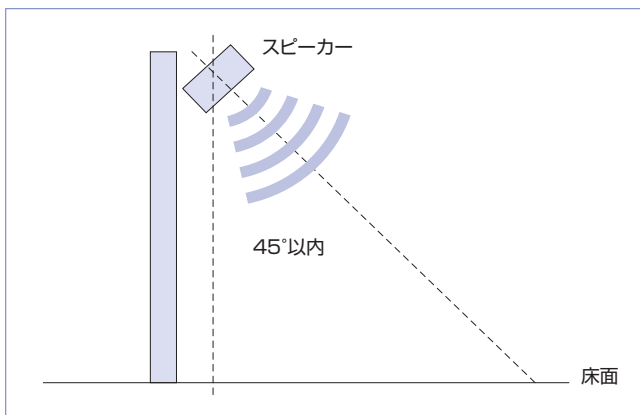
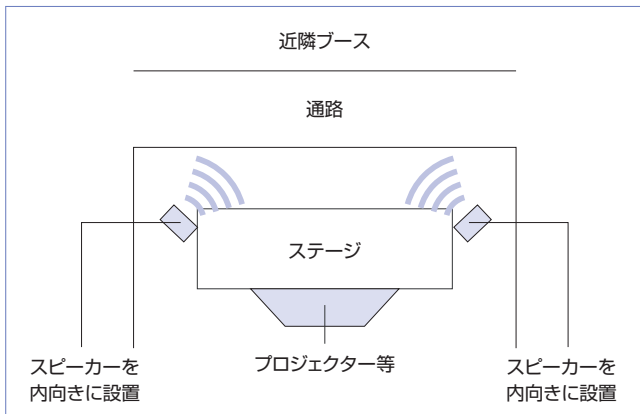
3. 隣接他社への動線の見通し

独立小間の設計にあたっては、隣接他社の小間位置を十分に考慮いただき、隣接他社を見通せるような配慮ある設計をお願いします。

4. スピーカー設置位置の制限

スピーカー等の拡声装置を、近隣ブースに対して正面に向けることを禁じます。必ず、ステージに対して正面より内向きになるように設置してください。

また、壁面や造作柱にスピーカーを設置する場合、スピーカーの中心軸を垂直下方に45度までとします。



◆天井構造／二階建て構造

1. 天井構造

展示物の性質ならびに実演の都合上、遮光・遮音等の措置を施す必要がある場合に限り、所轄消防署の承認を受けた範囲内で、防災処理された暗幕等で天井を設置することができます。

なお、会場内において直射日光は遮光できますが、間接光や天井灯が反射する恐れがありますので留意ください。

また、防音室等の密閉された空間には、面積によっては自動火災報知設備および消火設備を設置する必要があります。

詳しくは所轄消防署の指示に従ってください。

2. 二階建て構造／天井吊り構造

二階建て構造および天井吊り構造は禁止します。

◆床面工事

床面工事を行う場合は、施工図面を提出し、作業前に必ず実際のアンカーボルトの打ち込み本数を当協会にご連絡ください。また、コンクリート釘、ドライピットの使用は禁止いたします。

なお、ピット蓋へのアンカーボルトの打ち込みはできません。

1. 原状回復(復旧)

床面工事は会期終了後、原状へ完全復旧してください。原状復旧は、頭部が床面より出ている場合は水平面までサンダーで切断してください。ハンマーによる打ち込みやガス熔断、引き抜きはできません。最終現場チェックを行った上で原状回復が十分でないと認めた場合、あるいは指示された期間内に回復されておらず、やむなく当協会が作業を代行した場合、原状回復に要した一切の費用は出展者の負担になります。

2. 床面復旧協力費

アンカーボルトの打ち込みに際して、太さに関係なく一律で1本につき、1,050円(消費税込)を床面復旧協力費としてご負担いただきます。

◆消防法

施工期間中、または会期中、所轄消防署の査察検査があります。検査の結果、下記に違反した場合は、施工の中止、または取りこわしを命ぜられる場合もありますので記載内容を遵守してください。

1. 防災合板に厚い布およびひだのある紙類を貼付する場合は、防災性能を有するものを使用してください。ただし、うすい加工紙、布を防災合板に全面密着して使用する場合は構いません。
2. どん帳、カーテン、展示用の合板、繊維板、布製ブラインド、暗幕、造花、じゅうたん等の床敷物、工事の際に使用する工事用シート、その他の物品は、防災性能を有するものを使用してください。なお、これらの防災物品には、一つ一つ防災表示を見やすい箇所に縫いつけるか、貼り付け、下げ札等の方法をとってください。
3. ホンコンフラワー、ウレタン、アセテート、ポリエステル、ナイロンなどは防災性能を与えることが困難であるため使用しないでください。
4. 発泡スチロールの使用は一切認められませんので、スタイロフォームのような材質のものを使用してください。

展示物、展示運営に関する事項

◆模倣品・偽造品の展示等の禁止

1. 第三者の知的財産権(特許権、商標権、意匠権、著作権等を含みますが、これらに限りません。また、外国における権利を含みます。)を侵害する物品(いわゆる模倣品・偽造品)を展示、配布、または上映すること、その他一切の行為は禁止します。
2. 出展物その他の物品が模倣品・偽造品に該当、または該当する可能性が高いと実行委員会または当協会が判断した場合、実行委員会または当協会は、その裁量により、当該物品の撤去等の措置を取ることができるものとします。
また、出展者は、かかる措置に異議を述べないものとします。
3. 出展者は、出展物その他の物品が模倣品・偽造品に該当するか否かに関して実行委員会または当協会が行う調査に、協力するものとします。
4. 出展物の知的財産権に関する紛争は、出展者の責任において解決するものとします。

◆比較表示

下記の比較表示を行なう場合は、原則として自社および自社関連グループ企業の商品・製品・技術等を比較することとし、他社の商品・製品・技術等と比較表示する場合は当該他社の許諾を得た上、他社に迷惑がおよばないよう表示してください。

1. 展示および実演による比較表示
2. 説明パネル・パンフレット等による比較表示
3. ナレーション等による比較表示
4. その他の商品・製品・技術等に関する比較表示

実行委員会または当協会は上記に反した表示を確認した場合、該当する表示の中止または、改善を求めます。この要請により生じた出展者の損害等に関して主催者、実行委員会および当協会は一切補償しません。

なお、改善要求に対し、十分な措置が講じられていないと判断した場合、次回以降の出展をお断りすることがあります。

◆適正な表示

当協会では展示ブースにおける各種表示について次の対応をお勧めいたします。

1. 安全表示・警告表示
展示ブースの安全設計の徹底と、ディスプレイに対する適切な安全表示・警告表示をお勧めいたします。

2. 使用環境の描写

製品の展示については、その製品の実際使用環境に近い展示・演出を基本にディスプレイし、「過度な期待」や「優良誤認」等を与えないよう留意してください。なお、実際使用環境と違う展示については、その旨を表示することをお勧めいたします。

◆車両展示

自社小間内に中継車などの車両展示をする場合には、必ず小間規格内で収めてください。ただし、高さが超過する場合は「出展製品が高さ制限を超過する場合」で記載されている高さ超過申請を行ってください。

◆音量規制

説明・実演または演出などにより、自社小間内より発生される音量は、75dB以下の数値を厳守してください。来場者にとって最も説明を聞きやすい展示環境を保つため、ご協力をお願いいたします。

1. 数値は、小間の境界線から2mの場所において測定した音量を規準とします。
2. 会期中、当協会にて定期的に音量測定を行います。開催前日および会期中に自主的な音量測定を行ってください。音量測定器は当協会でもご用意いたしますので、必要な場合はお申し出ください。
3. 当協会の音量測定により規定値を超過している場合、出展者に対して改善を要求し、出展者はこれに従わなければなりません。
4. 規定値内であっても、あきらかに耳障りな音を発生し、隣接小間や来場者より苦情が発生した場合も改善を要求いたします。
5. 音響設備の運用責任者は小間内に常駐し、規程に従い音響設備が運用されるように常時管理してください。

◆デモ規制

1. 著作権処理

展示・実演で音楽の演奏、オーディオ・ビデオの録音物を再生する場合は、著作権に対する処理が必要です。(自社で権利を持つもので、すでに別途権利処理済みのものは不要)処理方法は、権利者が権利行使に関する事項を委託している社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)等にお問い合わせください。

2. 光線・照明

小間外の通路や会場躯体にライト等を照射することはできません。ただし、プロライティング部門の出展者で、展示製品の特性を紹介する上で、会場躯体などの遠方に照明を照射しなければ理解されない照明機材に限り、例外措置として会場躯体(自社ブースの天井部分のみ)に向けて照射できることとします。

また、LEDなどの光力の強い器材をディスプレイやサインに使用する場合、隣接する他社や来場者の迷惑にならないよう、十分配慮して設置してください。

3. スモークマシン

演出のためのスモークマシン(アルコール、オイル等の石油類を原料としたもの。または炭酸ガス、ドライアイス等を使用したもの)の使用を禁止いたします。

4. その他

実演によって発生することが予想される以下のものについては、あらかじめ予防措置をとり、他の出展者ならびに来場者に迷惑をおよぼさないよう注意してください。

(1)熱気 (2)ガス (3)臭気 (4)振動

6. 危険物の持ち込み

危険物を持ち込む場合は、下記の項目を厳守してください。

- (1)危険物の持込量は1日の使用量を限度としてください。
- (2)開催時間中には補給しないでください。
- (3)危険物使用場所の防火設備、使用時の危険防止に努めてください。
- (4)危険物は避難口から6m以上、その他の危険物は避難口から3m以上離れた場所としてください。
- (5)適応する消火能力2単位以上の消火器(10型以上)1本以上を必要に応じて設置してください。
- (6)火気使用場所から水平距離5m以上離れた場所としてください。
- (7)危険物取扱の責任者を定め安全管理に努めてください。

◆危険物の取り扱い

1. 消防法により展示場内において次の行為は禁止されております。

- (1)喫煙
- (2)裸火の使用(火花を発生させる装置、露出した電熱器などを含む)
- (3)石油液化ガス等の可燃性ガスの持ち込み
- (4)危険物(ガソリン、灯油、マシン油、重油等)の持ち込み
- (5)危険物品(火薬類、多量のマッチ・多量の使い捨てライター等)の持ち込み

2. 禁止行為の解除

上記の行為のうち、喫煙以外は出展物の実演等のため、必要最小量に限り一定の条件のもと所轄消防署の許可を受けて会場内に持ち込むことができます。禁止行為の解除を希望する出展者は出展者マニュアルでご案内する「危険物品申請書」に必要事項をご記入の上、カタログまたは実演状況説明書2部を添付し、ご提出ください。当協会より消防署に一括申請し、承認を受けたもののみ会場内に持ち込むことができます。

3. 喫煙

展示会場は所定の喫煙所をのぞいて全面禁煙となります。

4. 裸火の使用

裸火を使用する場合は次の項目を厳守してください。

- (1)設備の規模は必要最小限度とし同一機種は1個としてください。
- (2)裸火使用箇所の周囲は耐火材で保護してください。
- (3)周囲の状況、防火設備の管理は万全を期してください。
- (4)消火能力2単位以上の消火器(10型以上)1本以上を必要に応じて設置してください。
- (5)取り扱い責任者を定め火気管理と、容易に停止できる措置を講じてください。
- (6)裸火使用の位置は避難口、危険物その他易燃性の可燃物から水平距離5m以上離れた場所としてください。

5. 石油液化ガス、高圧ガスの使用

高圧ガス(酸素、水素、窒素、炭酸ガス、アルゴンガス等)を使用する場合は、次の項目を厳守してください。

- (1)設置完了後、気密検査を行ない必要に応じて火気厳禁の表示をしてください。
- (2)高圧ガスはできるだけ低圧に切り替えて使用し、ポンベの取り扱いには注意してください。可燃性ガスポンベ(カートリッジ式を除く)は会場内に持込むことはできません。
- (3)ガス漏れを防止するため連結部は完全な器具を使用するとともに、ガス漏れ警報器等により絶えずガス漏れに注意してください。

◆本規程の違反および解釈の疑義について

本規程に違反した出展者および本規程の解釈に疑義が生じた場合の対応は、下記によるものとします。なお、同規程の解釈は和文規程を優先します。

1. 実行委員会が、出展者のブースおよびその運営方法について出展規程に違反したと判断した場合には、当協会より出展者に改善の申し入れを行います。
2. 上記1.の申し入れを2度行っても改善がはかられない場合、また本規程の解釈に疑義が生じた場合には、実行委員会によりその対応を協議し、その最終判断に基づき当該出展者に改善を命じます。なお、この協議による結論は最終決定とし、出展者は異議申し立てや損害賠償請求の申し立てをすることはできません。
3. 上記2.により改善の申し入れを受けた出展者は、即日、改善内容および改善を行う日程等を文書で実行委員会に提出してください。
4. また2.により改善の申し入れを受けた出展者が上記3.の対応と改善策を講じない場合、また、実行委員会が改善内容が不十分であると認めた場合、下記の罰則を適用する場合があります。
 - (1) 翌開催日以降の実演・出展活動の禁止。
 - (2) 上記(1)の処分を守らなかった場合：
この事実を公表するとともに、当該出展者の次回「Inter BEE」への出展を認めないことがあります。

◆その他

1. 本出展規程以外の規制および制限事項は、後日配布する「出展者マニュアル」に明記いたしますので、あわせて遵守してください。
2. 出展小間料を含む全ての経費について手形によるお支払いはお断りします。
3. 本規程は、主催者、実行委員会および当協会が必要と認めた場合、その一部を変更することがあります。その場合、変更された規程内容は、Inter BEE公式WebSiteその他の方法で出展者に告知いたします。
4. 出展者は各自法令を遵守するものとし、主催者、実行委員会および当協会は、出展者の法令違反につき何らの責任も負わないものとしします。

◆実行委員会

実行委員会は、出展者の代表者で構成された、本展における規程や企画など、運営に関する事項を審議し、決定する機関です。
なお、準備期間・会期中は実行委員が会場に常駐し、出展環境の維持、問題の処理、出展規程の徹底に当たり、問題が発生した際にその処理を行う権限を有します。

運営・お問い合わせ先：
有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会
〒105-0012 東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館5階
Tel: (03)5402-7601 Fax: (03)5402-7605
E-mail: contact@inter-bee.com

◆運営スケジュール

◆出展者準備スケジュール

3月	19日(木) 出展募集説明会(出展募集開始)	
4月		一次出展募集
5月	29日(金) 一次出展申込期限	
6月		二次出展募集
		26日(金) 二次出展申込期限
7月	23日(木) 出展者説明会・小間割抽選会 (小間位置決定・各種マニュアル配布) 31日(金) 一次出展申込者 小間料支払い締切	
8月		31日(月) 二次出展申込者 小間料支払い締切
9月	中旬 入場事前登録開始 下旬 案内状・招待券発送	
10月		下旬 車両証・バッヂ配布
11月	14日(土) 15小間以上搬入開始 15日(日) 12小間以下搬入開始 Inter BEE 2009 International Broadcast Equipment Exhibition 11月18日(水)～20日(金)	
12月		

3・4月：目標設定などの出展計画

- ◆新規顧客開拓や顧客リストの更新・追加などの顧客接点を重視した目標設定
- ◆新製品PRのタイミングをInter BEEに合わせたプロモーション計画と目標設定

5・6月：出展申込手続き

- ◆出展計画の確定と出展規程に基づく出展申込手続き作業
- ◆出展に向けた実施スケジュールの確定

7・8月：ブース設計

- ◆小間割抽選会／出展者説明会への参加と出展者マニュアルの入手
- ◆小間位置と出展計画に基づいたブース設計と各種制作物作成の着手

9・10月：ブース運営に関する諸手続きと情報発信

- ◆ブース設計と展示製品の確定とスタッフィング等ブース運営マニュアルの策定
- ◆出展者マニュアルに基づく各種届出書および申込書の申請手続き
- ◆Websiteへの情報入力とニュースセンターへの情報提供など、開催に向けての情報発信

10・11月：開催準備と顧客アポイント取り

- ◆ブース運営マニュアルの完成とブース造作や展示製品搬出入の最終確認
- ◆顧客への招待券配布と会期中の事前アポイント取り
- ◆プレス向けリリースの作成や新製品発表の準備と取材対応

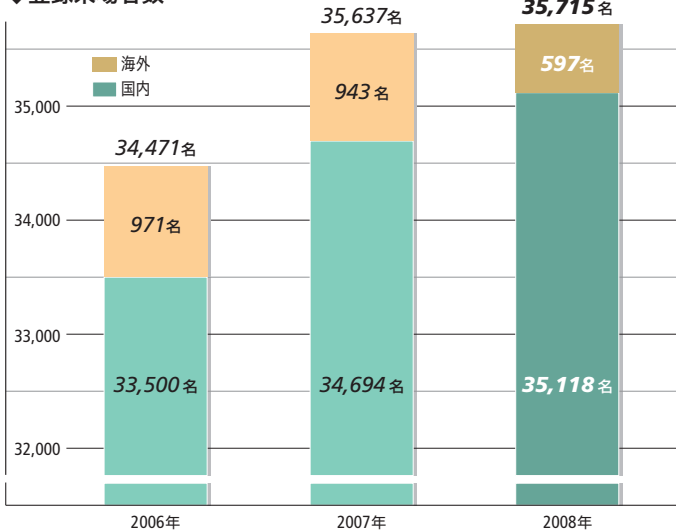
11・12月：顧客リストの整理と事後フォロー

- ◆ブース運営における効果測定と評価分析
- ◆顧客リストの分類整理と目標の達成度と顧客満足度の分析
- ◆結果分析に基づく顧客リスト分類ごとの事後フォロー活動

コアユーザをベースとした来場者数は年々着実に増加し、市場の広がりに伴い来場者層はさらに広がりを見せます。

2008年来場実績

◆登録来場者数



登録来場者数：
過去最多 **35,715** 名

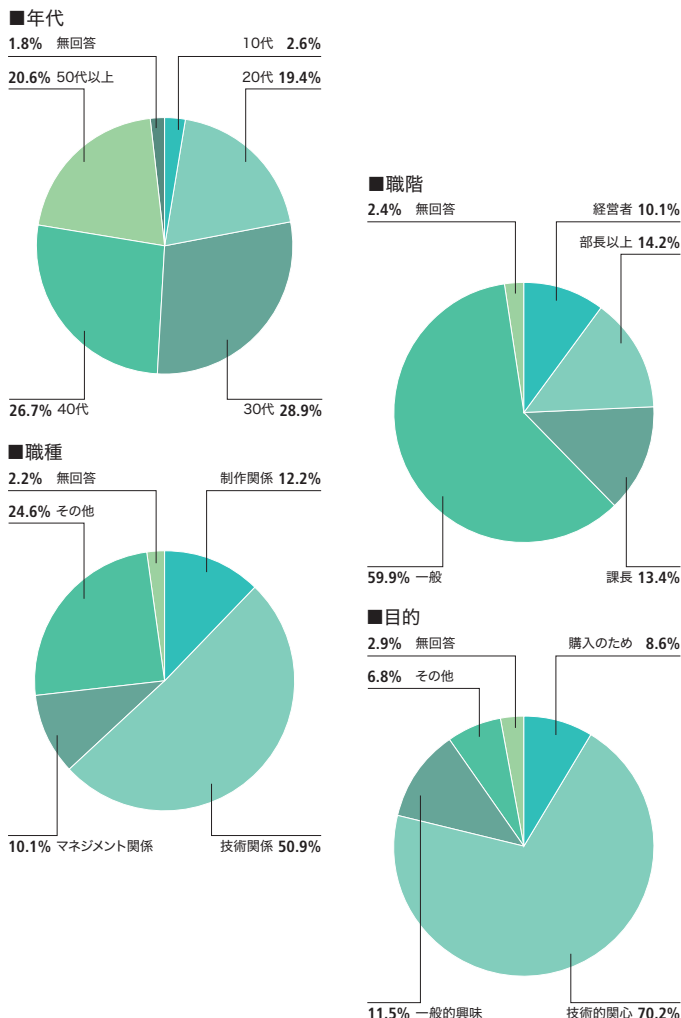
2008年	19日(水)	20日(木)	21日(金)	合計
国内登録来場者数	11,687	11,485	11,946	35,118
海外登録来場者数	342	143	112	597
登録来場者計	12,029	11,628	12,058	35,715

◆登録来場者の内訳

エリア	地域数/来場者数	国・地域別の来場者数
アジア地域	13ヶ国・地域/35,586名	日本35,118名 韓国263名、中国50名、台湾51名、タイ33名、香港12名、シンガポール17名、フィリピン25名、マレーシア7名、インド3名、インドネシア5名、ブータン1名、ベトナム1名
北米地域	1ヶ国/44名	米国44名
中南米地域	5ヶ国/18名	ブラジル9名、アルゼンチン1名、メキシコ6名、コロンビア1名、ペルー1名
大洋州地域	1ヶ国/1名	ニュージーランド1名
中東地域	5ヶ国/9名	UAE2名、エジプト4名、イスラエル1名、オマーン1名、カタール1名
欧州地域	9ヶ国/27名	イギリス8名、オーストリア3名、オランダ2名、スイス2名、スペイン1名、ドイツ4名、フランス2名、ベルギー1名、ロシア4名
不明		30名
合計	34ヶ国・地域	35,715名

来場地域数 **34** ヶ国・地域

◆来場者の属性



■業種

NHK	3.1%	官公庁・団体	2.0%
民間放送テレビ局	8.6%	その他ユーザ	10.9%
民間放送ラジオ局	0.9%	商社	6.3%
ポストプロ	9.0%	放送機器メーカー	14.7%
プロダクション	8.2%	広告代理店	1.6%
ビデオソフト制作会社	3.0%	学生	5.7%
レコード制作会社	0.9%	その他ゲスト	15.6%
PA関係	4.6%	無回答	1.7%
CATV関係	3.2%		

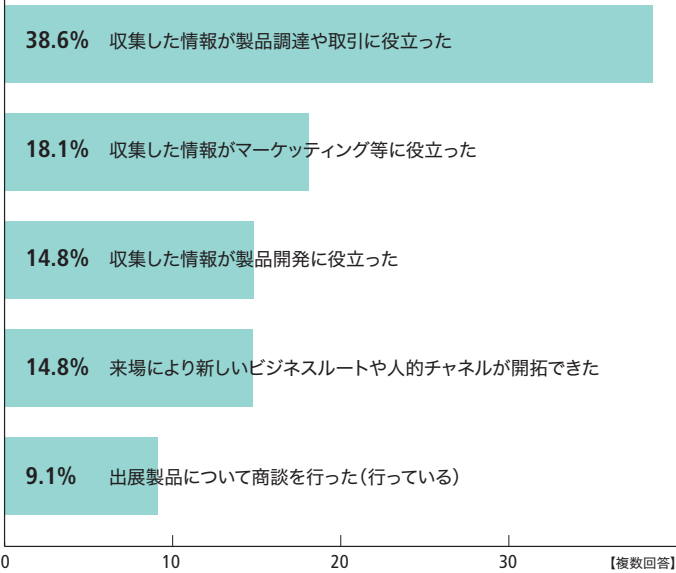
■関心(複数回答)

オーディオ機器全般	10.1%	マルチメディアシステム	4.4%
映像機器全般	17.3%	製作管理システム	1.6%
マイクロホン	3.1%	送出システム	3.0%
ミキサ	3.8%	中継システム	3.5%
スピーカ	3.7%	送信システム	3.4%
カメラ	7.6%	電源装置	1.6%
VTR・メモリカード・光ディスク	5.2%	測定機器	2.3%
サーバ・ストレージ	4.1%	各種特機・周辺製品	3.6%
照明機器	2.7%	ソフトウェア	5.2%
映像モニタ	4.9%	その他	1.2%
編集・制作装置	7.2%	無回答	0.6%

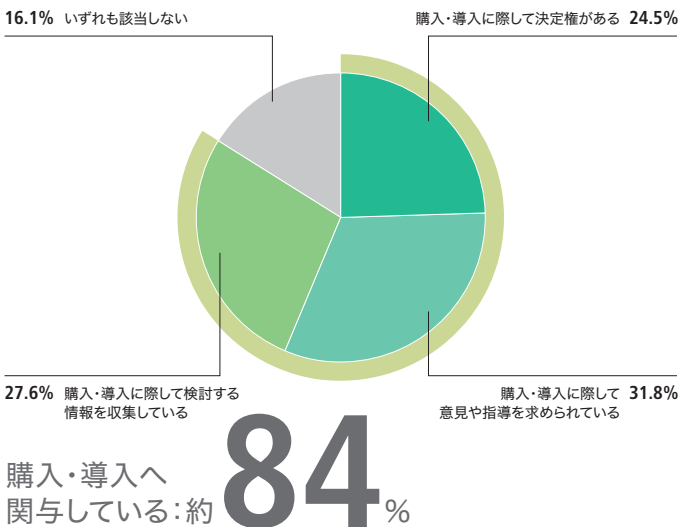
最新情報の収集、新規ビジネスの開拓を目的とする 来場者から、高い満足度を得ています。

2008年来場者アンケート

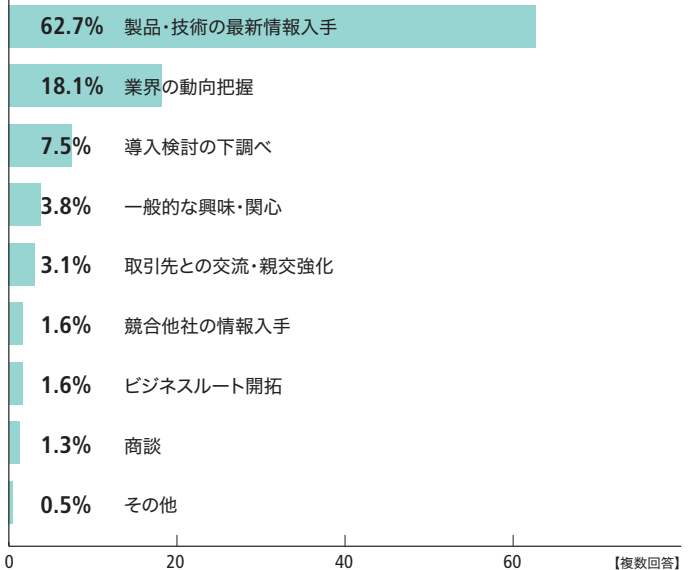
◆『Inter BEE 2008』を見学して、その後ビジネスに役立ちましたか。



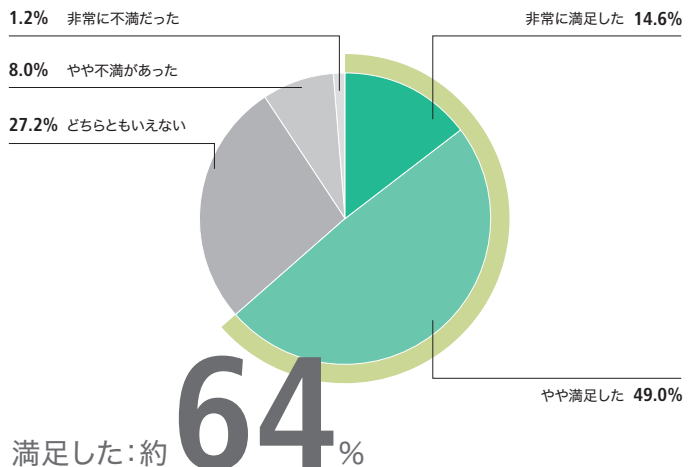
◆製品・サービスの購入・導入にあたって、どの程度関与されていますか。



◆『Inter BEE 2008』にご来場された目的を教えてください。



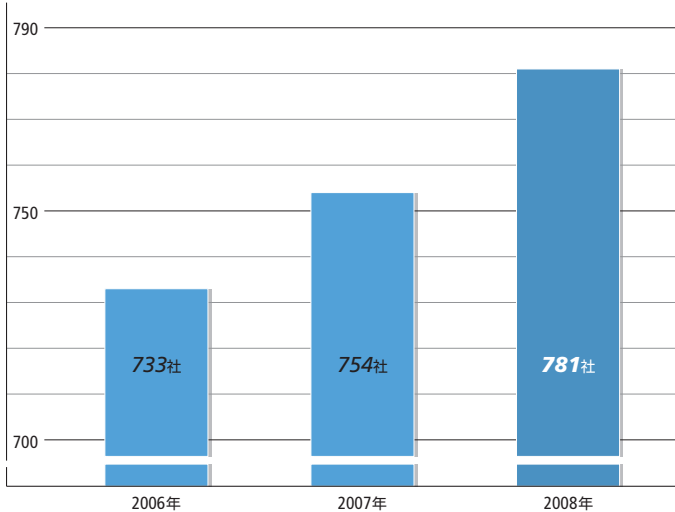
◆『Inter BEE 2008』全体を通して、どの程度満足しましたか。



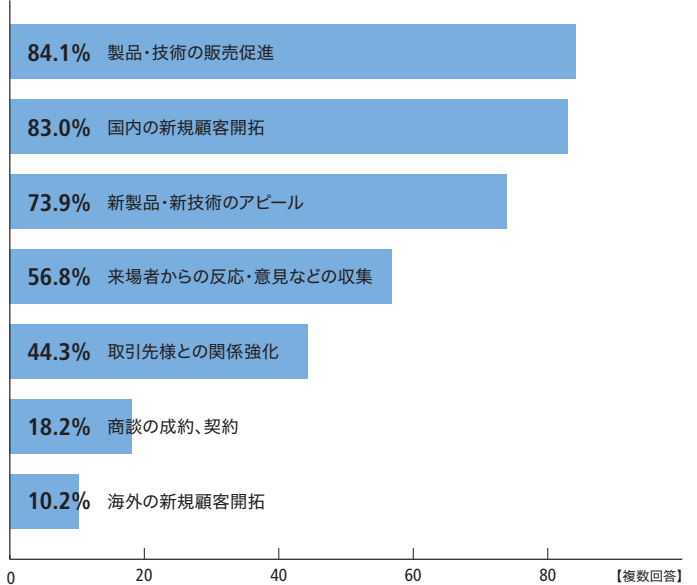
出展企業は過去最多の781社が参加し、 出展者の皆様には高い満足度をいただいています。

2008年開催実績

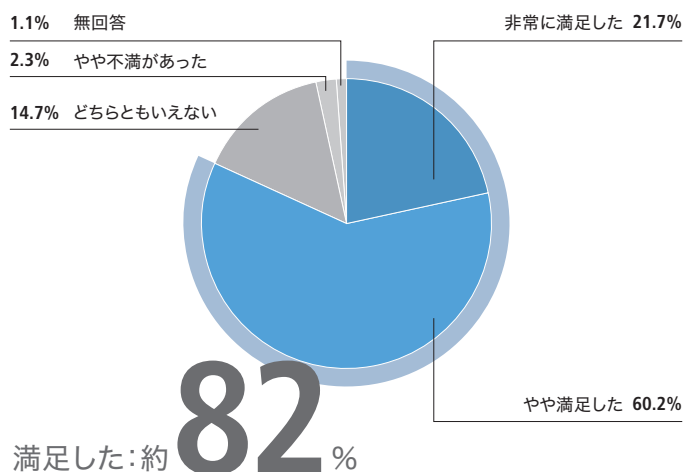
◆出展者数の推移



◆今回どのような目的で出展されましたか？



◆今回の目的はどの程度満足されましたか？



出展小間数：**1,968**小間

出展者数：**781**社 過去最多

◆出展者の内訳

エリア	出展国・地域数／出展者数	国・地域別の出展者数内訳
アジア地域	6ヶ国・地域／418社	日本381／韓国8／シンガポール1 中国11／台湾15／香港2
北米地域	2ヶ国・地域／180社	米国163／カナダ17
大洋州地域	2ヶ国・地域／8社	オーストラリア7 ニュージーランド1
中東地域	2ヶ国・地域／7社	アラブ首長国連邦2／イスラエル5
欧州地域	15ヶ国・地域／168社	アイルランド1／イギリス57 イタリア9／オーストリア2 オランダ6／スイス11 スウェーデン8／スペイン4 デンマーク7／ドイツ43 ノルウェー2／フランス11 ブルガリア1／ベルギー5 リヒテンシュタイン1
合計	27ヶ国・地域／781社	

出展国・地域数 **27**ヶ国・地域

放送業界におけるトレンドや最新技術動向を捉えることのできるConferenceやイベントを同時開催。

Inter BEE Forum 2008

11月19日～21日	
キーノートスピーチ	
11月19日	Beyond Broadcasting—新たなメディアに向かって アンディー・デイビー 氏 英国・BBC フューチャーメディア&技術局 技術計画管理コントローラー

シンポジウム

11月19日	■放送ビジネス シンポジウム 【特別講演】 フィンランドからの新しいビジネスアプローチ イルポ・マルティカイネン 氏 フィンランド・ジェネレック社 CEO 【パネルディスカッション】:放送人の会 ネット時代、“放送”はシーラカンスとなるのか? 「パネリスト」 風間 正 氏 芸術学博士・明星大学教授/映像作家 木谷 友亮 氏 WEBデザイナー やまだ 紫 氏 京都精華大学教授/漫画家 前川 英樹 氏 株式会社TBSメディア総合研究所 取締役相談役 「モデレータ」 今野 勉 氏 放送人の会 代表幹事/株式会社テレビマンユニオン 代表取締役副会長
11月20日	■映像シンポジウム 創造的な映像コンテンツ制作における人材育成革命 「プレゼンター」 Ms. Christine Freeman 米Pixar Animation Studios, Lead Archivist 中谷 日出 氏 日本放送協会 解説主幹 源田 悦夫 氏 九州大学大学院 芸術工学研究院 教授/九州大学 感性融合創造センター長 伊藤 光弘 氏 株式会社電通 第5クリエイティブ局 クリエイティブディレクター 「司会・進行」 国重 静司 氏 株式会社NHKアート 執行役員 為ヶ谷 秀一 氏 女子美術大学 大学院 芸術学部 メディアアート学科 教授
11月21日	■音響シンポジウム CMサウンド制作国内の現状 「プレゼンター」 喜多 真一 氏 ソニーPCL株式会社 佐多 直厚 氏 株式会社電通 瀬川 英史 氏 CM音楽作曲家 須賀 和男 氏 コマーシャルフォト 編集部員 「司会・進行」 沢口 真生 氏 株式会社ハイオニオ 研究開発本部 オーディオ推進部顧問 Fellow M/AES/IBS/M/C.A.S.

Inter BEE Forum 2008連動イベント

■チュートリアル・セッション NEW

業界で働く若手、エンジニアを対象に、第一線で活躍する講師陣による講演。

11月20日	現場で役立つ音響制作技術者のための基礎知識
音響セッション	いまさら聞けないデジタルオーディオの基礎 仮設サラウンドモニター環境の構築 トラブルから解説する各種ケーブルと伝送理論の基礎
11月21日	現場で役立つデジタル映像制作技術者のための基礎知識
映像セッション	デジタル映像信号の基本 デジタル映像合成のための撮影技法 映像品質およびカラーマネジメント

■Asia Contents Theater NEW

アジアマーケットで急成長するコンテンツビジネス・作品を、展示ホール内の特設会場にて紹介。

11月19日	日韓中テレビ制作者フォーラム 作品上映	協力:放送人の会
11月20日	TBS DigiCon 6 優秀作品上映&トークセッション	協力:東京放送株式会社
11月21日	ABU Prizes 2007 Winners 作品上映	協力:Asia Broadcaster Union (ABU)

■Asia Contents Gallery NEW

Theaterにてご紹介した全作品をオンデマンドにて閲覧。

■オーディオデモルーム

CMサウンド作品や音響シンポジウムプレゼンターの試聴デモを実施。

2008年同時開催イベント

11月19日	DTV Workshop 2008 主催:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 後援:DIBEG in ARIB 社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 放送システム専門委員会が主催するこのセミナーは、「携帯端末向けマルチメディア放送」「デジタル放送完全移行」「ISDB-T放送の展開」をテーマに、総務省やNHKなどの専門家が講演した。 ■講演テーマ ◆デジタル化完了後の新たな携帯端末向けマルチメディア放送の導入に向けて ◆地上デジタル放送への完全移行に向けて ◆海外におけるISDB-T放送の展開(ブラジルを中心に)
--------	--

11月19日～21日	第45回 民放技術報告会 主催・運営:社団法人日本民間放送連盟(NAB-J) 会期中3日間にわたり、全国各局の技術者より各部門について96件の報告があった。 ■特別企画 ◆テーマ:ブラウン管がなくなる日~どうする?マスターモニター!~ ■技術報告
11月19日	●回線・伝送部門 ●データ放送・デジタルサービス部門/画像技術部門 ●ラジオ・音声部門
11月20日	●特別企画 ●制作技術部門 ●情報・ネットワーク部門
11月21日	●制作技術部門 ●送出部門 ●送信部門

11月19日	第10回 NAB東京セッション 主催:NAB東京セッション実行委員会 協力:全米放送事業者協会 「大進化 放送メディア-激変する事業環境への対応」と題して開催された。 ■基調講演1: 2011年完全デジタル化に向けて ■基調講演2: 2.17 アナログ停止へ 米国放送産業の挑戦 ■第1部 地上デジタル放送時代のビジネス戦略
講演1	地上デジタル放送完全移行への課題
講演2	ワンセグの有効性と課題 ~TOKYO MXのマルチプラットフォーム戦略
講演3	民放のオンデマンド ~転換点を迎えたコンテンツビジネス
講演4	NGNが実現する高機能テレビサービス
■第2部 ファイル化時代の放送設備	
パネルディスカッション	ファイルベース放送システム ー使って分かった利点、課題、将来性

11月20、21日	IPTV Summit 企画・制作:IMC Tokyo Event Team (CMP/テック/ロジージャパン株式会社)
-----------	---

2回目となるIPTV Summit 専門セミナーでは、放送事業者通信事業者、プラットフォーム側のそれぞれの取組みをはじめとする、IPTVを取り巻く最新動向について、全10セッションが実施された。

A-1	映像配信サービスにおけるソフトバンクの取り組み
A-2	FMBC戦略におけるIPTVサービスについて
A-3	IPTVに対する期待と課題
A-4	世界の放送コンテンツ保護の状況
A-5	IPTVフォーラム規格化の昨日・今日・明日(パネルディスカッション)
B-1	ひかりTVが拓くIP放送とビデオ・オン・デマンドの可能性
B-2	テレビでいつでもビデオレンタル 「あく扉」の事業展開
B-3	"First IP Olympic Games" 「初めてのIPオリンピックゲーム」
B-4	見逃したあの番組、もう一度みたいあの番組をいつでも 「NHKオンデマンド」12月スタート
B-5	どうなる「民放オンデマンド」!(パネルディスカッション)



Inter BEE

International Broadcast Equipment Exhibition



会期: **11月18日(水)》》20日(金)**

会場: **幕張メッセ**

主催: **JEITA** 社団法人 電子情報技術産業協会

Audio

響音

Visual

彩

Creation

創

Delivery

送

Professional

匠

Trade Show

集

運営・お問い合わせ先

有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館5階

Tel: (03)5402-7601 Fax: (03)5402-7605 E-mail: contact@inter-bee.com

※当法人は、平成20年12月施行の「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、
本年5月の通常総会で法人格を「有限責任中間法人」から「一般社団法人」に変更する予定です。

音と映像と通信のプロフェッショナル情報サイト

Inter BEE online

www.inter-bee.com